

地域密着型金融推進計画の具体的な取組みの進捗状況

萩信用金庫

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化				
(1) 創業・新事業支援機能等の強化				
融資審査体制の強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所や営業店から創業・新事業展開情報を収集し、将来性ある案件の発掘・育成に取組む。 ・各種外部研修への積極的な派遣、各種通信講座や庫内研修を継続的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はぎしん事業支援ネットワーク体制」の充実に努める。 ・「目利き力養成講座」「企業再生支援講座」等外部研修に積極的に派遣する。 ・研修受講者を講師とした庫内研修を実施する。 ・各種通信講座、全信協実務試験、銀行業務検定試験等の受講・受験を奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度の取組みを継続し、一層強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業に対する取り組み ・企業化支援資金6件実行（中古車販売および保険代理店開業資金3,000千円、飲食店開業資金7,500千円、給排水工事運転資金2,000千円、薬局開業資金34,000千円、歯科医院開業資金35,000千円、和洋菓子販売業7,000千円） ・飲食店、医療法人の開業資金として企業化支援資金の案件2件（140百万円）あり。19年度上期に実行予定。 ・外部研修派遣状況 ・目利き力養成上級講座（全国信用金庫研修所）3名 ・目利き力養成基礎講座（全国信用金庫研修所）2名 ・目利き研修講座（中信協主催）4名 ・企業再生支援実践講座（全国信用金庫研修所）2名 ・企業再生支援講座（中信協主催）4名 ・企業再生支援実務担当者会議（山口市）1名（平成18年3月1日、7月7日、9月15日、11月24日出席） ・R C Cの企業再生に関する勉強会（中信協主催）1名 ・再生支援研究会（広島市）1名 ・中国地区しんきん企業支援研究会（信金中金）1名 ・地域振興支援実務研修（信金中金）1名 ・事業再生セミナー（信金中金）2名 ・中小企業経営改善支援実務研修（信金中金）1名 ・庫内研修（土曜セミナー）の実施 ・監査法人による「自己査定に関する研修会」開催（平成17年11月26日、18年12月2日） ・「目利き力養成講座」受講者（支店長3名）を講師とした庫内研修を開催（平成18年6月13日） ・各種通信講座の受講状況 ・企業目利き力養成講座（㈱きんざい）1名 ・中小企業経営改善プログラム講座（㈱きんざい）1名 ・融資の説明に強くなる講座（近代セールス社）15名 ・実践 中小企業経営支援アドバイスコース（経済法令研究所）1名 ・銀行業務検定試験には17年度81名が受験、18年度は67名が受験。 ・全信協実務試験は17年度、基礎実務18名、上級実務5名が受験、18年度、基礎実務3名、上級実務5名が受験。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
産学官の更なる連携強化。「産業クラスターサポート金融会議」の効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 「はぎしん事業支援ネットワーク体制」により、情報の収集及び情報の発信を行い、技術開発や新技術には営業店と本部で強調した支援体制で取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業から情報収集する。 営業店からの情報連絡票を持って技術開発や新事業のニーズ情報を収集する。 関連機関（政府系金融機関、商工会議所等）との情報交換を実施する。 「産業クラスターサポート会議」へ積極的に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の取組みを継続し、一層強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国地区産業クラスターサポート金融会議に参加した。（平成17年5月16日、平成18年5月15日） 中国地区産業クラスターサポート金融会議山口地域分科会に参加した。（平成18年3月16日） はぎしん事業支援ネットワーク体制に基づき各営業店及び本部担当部署で、地元商工会・商工会議所との情報交換を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 油谷商工会 1回 長門商工会議所 30回 三隅町商工会 1回 萩商工会議所 24回 阿武町商工会 13回 川上村商工会 2回 萩商工会議所常議員会に出席した。（18年4月13日） 阿武町商工会青年部総会に出席した。（18年5月23日） 萩市観光協会理事会に出席した。（18年7月12日） 山口県信用保証協会と研修・情報交換会を実施した。（18年5月16日） 萩商工会議所総会（18年12月8日）、新年互礼会（19年1月9日）に出席の他12回、阿武町商工会5回、長門商工会議所10回、萩・阿西商工会1回情報交換した。 毎月開催される萩市観光協会理事会に出席した。 萩商工会議所青年部との勉強会を開催した。（18年10月20日）
地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> 「はぎしん事業支援ネットワーク体制」により、情報の収集及び情報の発信を行い、ベンチャー企業の育成に営業店と本部で強調した支援体制で取組む。 関連機関（政府系金融機関・商工会議所）との情報交換を行う。 関連機関との連携支援体制（協調融資等）を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はぎしん事業支援ネットワーク体制」による事前情報収集を行う。 関連機関（政府系金融機関・商工会議所）との情報交換を行う。 関連機関との連携支援体制（協調融資等）を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の取組みを継続し、一層強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国地区産業クラスターサポート金融会議に参加した。（平成17年5月16日、平成18年5月15日） 中国地区産業クラスターサポート金融会議山口地域分科会に参加した。（平成18年3月16日） はぎしん事業支援ネットワーク体制に基づき各営業店及び本部担当部署で、地元商工会・商工会議所との情報交換を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 油谷商工会 1回 長門商工会議所 30回 三隅町商工会 1回 萩商工会議所 24回 阿武町商工会 13回 川上村商工会 2回 萩商工会議所常議員会に出席した。（18年4月13日） 阿武町商工会青年部総会に出席した。（18年5月23日） 萩市観光協会理事会に出席した。（18年7月12日） 山口県信用保証協会と研修・情報交換会を実施した。（18年5月16日） 17年12月20日、農林漁業金融公庫と業務協力の締結をした。 萩商工会議所総会（18年12月8日）、新年互礼会（19年1月9日）に出席の他12回、阿武町商工会5回、長門商工会議所10回、萩・阿西商工会1回情報交換した。 毎月開催される萩市観光協会理事会に出席した。 萩商工会議所青年部との勉強会を開催した。（18年10月20日）

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化 中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんきんビジネス・マッチングサービス」を利用して、経営情報やビジネス・マッチング情報の提供を本部と営業店が強調して推進する。 ・営業店からの情報連絡票を持って経営相談や取引先の紹介・仲介のニーズ情報を収集する。 ・ISO認証支援業務を通じて企業支援を実施する。 ・金庫関連広報誌に顧客情報を掲載し、ビジネス・マッチング情続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店からの情報連絡票を持って経営相談や取引先の紹介・仲介のニーズ情報を収集する。 ・ISO認証支援業務を通じて企業支援を実施する。 ・金庫関連広報誌に顧客情報を掲載し、ビジネス・マッチング情報の提供を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度の取組みを継続し、一層強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんきんビジネス・マッチングサービス」の利用先1件成約し、情報発信・提供している。また、予定案件2件保有している。 ・はぎしん事業支援ネットワーク体制に基づき各営業店及び本部担当部署で、地元商工会・商工会議所との情報交換を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・油谷商工会 1回 ・長門商工会議所 30回 ・三隅町商工会 1回 ・萩商工会議所 24回 ・阿武町商工会 13回 ・川上村商工会 2回 ・萩商工会議所常議員会に出席した。(18年4月13日) ・阿武町商工会青年部総会に出席した。(18年5月23日) ・萩市観光協会理事会に出席した。(18年7月12日) ・山口県信用保証協会と研修・情報交換会を実施した。(18年5月16日) ・岡山県しんきん合同ビジネス交流会に参加した。(18年9月6日) ・17年12月20日、農林漁業金融公庫と業務協力の締結をした。 ・萩商工会議所総会(18年12月8日)、新年互礼会(19年1月9日)に出席の他12回、阿武町商工会5回、長門商工会議所10回、萩・阿西商工会1回情報交換した。 ・毎月開催される萩市観光協会理事会に出席した。 ・萩商工会議所青年部との勉強会を開催した。(18年10月20日) ・山口合同ビジネスフェア実施予定(平成20年3月12日)の準備委員会に出席した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
<p>要注先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援先企業を抽出し、経営改善計画書の策定等により債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンを防止する。 ・中小企業再生支援協議会の積極的な活用を図る。 ・支援先以外の企業への支援要請に対する取組みを迅速化し、早期健全化を図る。 ・フォローアップが必要な支援先に対して、計画書策定後の定期的なモニタリングを実施し、乖離が大きい場合は計画書の再策定などを実施する。 ・HP等において、体制整備状況や経営改善取組み先数、ランクアップ先数やランクアップ先の個別具体例を公表する。 ・企業再生に係る人材育成、スキルアップを目的とした各種研修の積極的な参加及び庫内研修を実施する。 ・正常先及び要注先から大口上位20先を抽出し、キャッシュフローのモニタリングを実施して不良債権の新規発生の防止に努める。 ・不良債権の発生防止策として、「1ヶ月未満延滞管理報告書」による長期延滞の阻止、営業店による延滞債権比率の目標設定と比率の改善を図る。 ・店舗業績評価精度に不良債権金額・先数改善項目を反映させる。 ・計画的な債権の売却を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援先企業を抽出し、経営改善計画策定に着手する。 ・計画策定済の定期的なフォローの実施及び改善計画と経営実績との比較・検討を行う。 ・中小企業再生支援協議会の活用を図る。 ・HP等において、体制整備状況や経営改善取組み先数を公表する。 ・全国信用金庫研修所主催「目利き力養成ステップアップ講座」等各種研修プログラムに参加する。 ・渉外員を対象とした財務分析、CF経営について勉強会を開催する。 ・取引先のキャッシュフローをモニタリングし、不良債権の新規発生を防止する。 ・延滞債権比率の目標設定を行う。 ・店舗業績評価精度に不良債権金額・先数改善項目を反映させる。 ・債権の売却を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援先の見直し、企業先の追加・削除を行い改善計画策定に着手する。 ・計画策定済の定期的なフォローの実施及び改善計画と経営実績との比較・検討を行う。 ・中小企業再生支援協議会の活用を図る。 ・HP等において、体制整備状況や経営改善取組み先数、ランクアップ先数やランクアップ先の個別具体例を公表する。 ・各種研修プログラムに参加する。 ・勉強会を開催する。 ・取引先のキャッシュフローをモニタリングし、不良債権の新規発生を防止する。 ・延滞債権比率の目標設定を行う。 ・店舗業績評価制度に不良債権金額・先数改善項目を反映させる。 ・債権の売却を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度、支援先企業47先（新規19先、継続28先）を抽出し経営改善計画策定に着手し、13先の改善計画を策定、計画策定完了先18先をフォローアップした。 ・企業再生支援講座(2名)、企業再生支援実践講座(1名)、目利き力養成ステップアップ講座(2名)、目利き研修講座(2名)、目利き力養成基礎講座(1名)に参加した。 ・延滞債権比率の目標設定を行い、店舗業績評価制度に不良債権金額・先数改善目標を反映した。 ・平成17年11月HPに再生支援取組先数を掲載した。 ・渉外担当者を対象に財務分析及びCF経営についての勉強会を実施した。（22名参加） ・正常先及び要注先の大口上位20先のモニタリングリストを作成し、キャッシュフローによるモニタリングを実施し、業績悪化先に対して改善支援・助言を行った。 ・債権の売却を行った。（売却先11先、債権額合計1,743百万円） ・平成18年度支援先企業16先（新規2先、継続14先）を抽出し経営改善計画策定に着手した。 ・目利き力養成講座上級編(1名)、目利き力養成講座基礎編(1名)、企業再生支援実践講座(1名)、企業再生支援講座(2名)、目利き研修講座(2名)に参加した。 ・渉外担当代理及び渉外担当者を対象に「地域経済の現状及び販売促進における検索連動型広告について」の勉強会を実施した。（22名参加） ・融資担当代理を対象に「改善計画の策定手法について」の勉強会を実施した。（15名参加） ・平成18年度正常先及び要注先の大口上位20先のモニタリングリストを作成した。 ・平成18年度延滞債権比率の目標設定を行った。 ・支援先企業の実績を計画との対比（フォローアップ）を行い、乖離している場合には修正計画を作成した。 ・地域振興支援実務研修、中小企業経営改善支援実務研修に参加した。 ・平成18年11月にHPに再生支援取組先数を掲載した。 ・債権の売却を行った。（バルクを実施、売却先10先、債権額323百万円）

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(3) 事業再生に向けた積極的取組み				
中小企業再生支援協議会の一層の積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> 経営・財務の健全化、円滑な再生を図るため、より専門的な支援が必要である企業を選定する。 企業より中小企業再生支援協議会への紹介依頼があった場合は斡旋を実施する。 中小企業再生支援協議会より協力依頼があった場合は積極的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業の選定及び中小企業再生支援協議会への斡旋を行う。 企業より中小企業再生支援協議会への紹介依頼があった場合は斡旋を実施する。 中小企業再生支援協議会より企業の再建計画等について協力依頼があった場合は積極的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業の選定及び中小企業再生支援協議会への斡旋を行う。 企業より中小企業再生支援協議会への紹介依頼があった場合は斡旋を実施する。 中小企業再生支援協議会より企業の再建計画等について協力依頼があった場合は積極的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度対象企業を1先選定し取掛かったが、方向性が決まらず断念した。 平成18年度2先対象企業を選定したが、企業先の同意を得られず持ち込みには至らなかった。
外部機関との連携等を通じた金融実務にかかる専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> 山口県中小企業診断協会との提携を行う。 中小企業再生支援協議会での取組みが難しい先を中心とした企業への働きかけを行う。 専門的助言を求める企業へ山口県中小企業診断協会を斡旋する。 中小企業金融公庫の利用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 山口県中小企業診断協会との提携を行う。 中小企業再生支援協議会での取組みが困難な先へ利用の働きかけを行う。 斡旋希望支援先を山口県中小企業診断協会へ紹介する。 中小企業金融公庫の利用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会での取組みが困難な先へ利用の働きかけを行う。 斡旋希望支援先を山口県中小企業診断協会へ紹介する。 中小企業金融公庫の利用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年8月に山口県中小企業診断協会と提携したが、斡旋紹介の実績がなく、また中小企業金融公庫の利用もなかった。
中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画作成による再生支援	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業先の抽出及び経営革新計画作成の支援を行う。 経営革新計画承認後の事業資金、販路開拓等各種支援を受けるためのサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業先の抽出及び経営革新計画作成の支援を行う。 経営革新計画承認後の事業資金、販路開拓等各種支援を受けるためのサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業先の抽出及び経営革新計画作成の支援を行う。 経営革新計画承認後の事業資金、販路開拓等各種支援を受けるためのサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度は3社を対象先に抽出し検討を重ねた結果、革新性に欠け経営革新計画作成には至らなかった。 平成18年度は、2社の経営革新計画が承認された。
再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生支援取組先数やランクアップ先数及びランクアップ先の個別具体例を公表する。 他金融機関のHP閲覧や再生支援協議会の具体例を参考に、再生支援手法を研究する。 支援先に適した手法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生支援取組先数やランクアップ先数をHP等で公表する。 他金融機関のHP閲覧や再生支援協議会の具体例を参考に、再生支援手法を研究する。 支援先に適した手法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生支援取組先数やランクアップ先数及びランクアップ先の取組み手法等をHP等で公表する。 他金融機関のHP閲覧や再生支援協議会の具体例を参考に、再生支援手法を研究する。 支援先に適した手法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業庁のHPで再生支援協議会の再生計画策定完了案件の概要を閲覧し支援先の改善計画作成の参考にした。 平成17年11月HPに再生支援取組先数を掲載した。 中国地区しんきん企業支援研究会（信金中金中国支店主催、平成17年11月、18年3月、11月開催）及び事業再生実務担当者会議（山口県信用金庫協会主催、平成18年3月開催）に参加し、具体例の研究を行い、支援手法の参考にした。 平成18年度、中国地区しんきん企業支援研究会（信金中金中国支店主催、平成18年7月開催）及び事業再生実務担当者会議（山口県信用金庫協会主催、平成18年7月、9月、11月開催）に参加し、具体例の研究を行い、支援手法の参考にした。 RCCの企業再生に関する勉強会（中国地区信用金庫協会主催、平成18年4月開催）に参加した。 事業再生セミナー（中国地区信用金庫協会主催、平成18年10月開催）に参加した。 地域密着型金融に関するシンポジウム（中国財務局主催、平成18年12月開催）に参加した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成に努める。 ・年2回(1回は試行査定)の自己査定を継続実施し、早期の業況把握を行う。 ・信用格付システムのSSCへの移行を図る。 ・信用リスクデータベースの活用によりポートフォリオの適正化、リスク量の把握等に取組む。 ・SDB(信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース)より還元される統計情報やスコアリングモデルを活用する。 ・保証人に対し保証債務に関する適切な説明を行う。 ・モニタリングにより企業の業況や今後の見通し等を把握する。 ・スコアリングモデルを活用した担保・保証に過度に依存しない新しい融資商品の開発・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種外部研修への派遣、通信講座・検定試験等の受講・受験を奨励し審査能力の向上に努める。 ・信用格付システムのSSCへの移行を図る。 ・7月末基準(試行査定)、12月末基準による自己査定を実施する。 ・営業店長及び企業支援課の中小企業診断士3名による継続的な訪問活動により、経営実態の適切な把握に努める。 ・保証人に対し保証債務に関する適切な説明を行う。 ・担保・保証に過度に依存しない新しい融資商品の開発・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク量の把握やポートフォリオの適正化等把握等に取組む。 ・SDB(信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース)より還元される統計情報やスコアリングモデルを活用する。 ・保証人に対し保証債務に関する適切な説明を行う。 ・担保・保証に過度に依存しない新しい融資商品の開発・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修派遣状況 <ul style="list-style-type: none"> ・目利き力養成上級講座3名、目利き力要請基礎講座2名、目利き研修講座4名、企業再生支援実践講座2名、企業再生支援講座4名、その他融資関連、企業再生支援関連の研修へ12名派遣。 ・銀行業務検定試験には17年度81名が受験。18年度67名が受験。 ・各種通信講座の受講状況 <ul style="list-style-type: none"> ・企業目利き力養成講座1名、中小企業経営改善プログラム講座1名、融資の説明に強くなる講座15名、実践中小企業経営支援アドバイスコース1名 ・全信協実務試験は17年度、基礎実務18名、上級実務5名受験、18年度、基礎実務3名、上級実務5名受験。 ・信用格付システムのSSCへの移行 ・決算書入力方法の説明会実施(平成17年7月20日、7月21日) ・決算書入力作業及び格付結果の検証(17年度、最終的な自己査定との整合率63.1%、18年度、65.38%) ・「格付結果検討書」「格付情報調査依頼書」による格付結果不一致の原因調査。 ・18年7月10日、SSCよりデフォルト率(全国のSSC利用金庫の実績デフォルト率)の還元を受け試行的に信用リスク量の算出を行った。 ・7月末基準(試行査定)及び12月末基準による自己査定の実施。 ・営業店長及び企業支援課の中小企業診断士(3名)による継続的な訪問活動による企業の経営実態把握。 ・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る事務取扱要領」を制定し、平成17年4月1日より施行。 ・担当責任者(営業店長)による与信取引等に係る研修実施。(平成17年4月・2店舗、平成18年2月・2店舗、平成18年3月・7店舗)(平成19年1月・5店舗、2月・4店舗、3月・2店舗) ・庫内責任者(審査課長)による与信取引等に係る研修実施(平成17年3月23日)(平成19年2月26日)。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
中小企業の資金調達方法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の資金調達方法の多様化に対応するため、新たな融資手法に関する知識・ノウハウの蓄積に努める。 ニーズに対して、信金中央金庫等と連携して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫による説明会等を通して、ニーズに対応できる知識・ノウハウの蓄積、向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に17年度の取組みを継続し、一層強化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫によるシンジケートローン アレンジャー業務研修に担当者1名が参加した。 (財)中国産業活性化センター主催による地域展開型PFI推進フォーラム2005に1名参加した。 売掛債権担保融資を3件、合計20,959千円実行した。
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化				
「説明責任ガイドライン」を踏まえた説明態勢の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る事務取扱要領」に沿って、客観的合理的理由の説明が行われているか検証を行う。 定期的な庫内及び店内研修を通じ、役職員の知識の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当部署(融資部)が行う事務指導、監査部が実施する監査等により検証を行う。 庫内責任者(審査課長)による役職員の知識の向上を目的とした研修を年1回以上実施する。 担当責任者(営業店長)による役職員の知識の向上を目的とした研修を年1回以上実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に17年度の取組みを継続し、一層強化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る事務取扱要領」を制定し、平成17年4月1日より施行。 監査部による営業店監査実施(平成17年度、6月～11月・全店舗、平成18年度、7月～19年1月本部を含む全店舗) 事務指導担当者による営業店指導訪問の実施(平成17年度、8月～11月・全店舗) 担当責任者(営業店長)による研修実施(平成17年度、4月・2店舗、平成18年2月・2店舗、平成18年3月・7店舗)(平成19年1月・5店舗、2月・4店舗、3月・2店舗) 庫内責任者(審査課長)による研修実施(平成17年度、18年3月・対象者45名)(平成18年度、19年2月・対象者30名) 通信講座受講奨励(融資の説明に強くなる講座)15名受講。 平成19年2月、融資の謝絶は顧客とのトラブルを招きかねない重要な事項であることから、「融資謝絶マニュアル」及び「融資謝絶記録簿」を規程に追加した。
相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス室担当者が地域金融円滑化会議に出席する。 コンプライアンス委員会会議を開催する。 コンプライアンス担当者会議を開催する。 庫内責任者(審査課長)による役職員の知識向上を目的とした研修会を実施する。 営業店長による職員の知識向上を目的とした店内研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域金融円滑化会議に出席する。(年2回開催予定) コンプライアンス委員会会議を開催する。(年2回開催) コンプライアンス担当者会議を開催する。(年4回開催) 庫内責任者(審査課長)による役職員の知識向上を目的とした研修会を実施する。(年1回以上開催) 営業店長による職員の知識向上を目的とした店内研修会を実施する。(年1回以上開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域金融円滑化会議に出席する。(年2回開催予定) コンプライアンス委員会会議を開催する。(年2回開催) コンプライアンス担当者会議を開催する。(年4回開催) 庫内責任者(審査課長)による役職員の知識向上を目的とした研修会を実施する。(年1回以上開催) 営業店長による職員の知識向上を目的とした店内研修会を実施する。(年1回以上開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 第9回山口地域金融円滑化会議出席(17年9月7日) 第10回山口地域金融円滑化会議出席(18年2月16日) 第11回山口地域金融円滑化会議出席(18年9月7日) 第12回山口地域金融円滑化会議出席(19年2月28日) コンプライアンス委員会会議の開催(17年8月19日、18年3月3日、18年8月18日、19年2月27日) 臨時コンプライアンス委員会開催(18年11月15日、18年12月19日) コンプライアンス担当者会議の開催(17年4月21日、17年9月27日、17年11月22日、18年2月17日、18年4月21日、18年6月16日、18年10月24日、19年2月23日) 「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る事務取扱要領」の説明会の実施(17年4月6日) 庫内責任者(審査課長)による「与信取引に関する顧客への説明に係る」研修会実施(18年3月23日、19年2月26日) 営業店長による店内研修会実施(全営業店)

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(6) 人材の育成 「目利き」能力、経営支援能力の向上など、事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた人材育成のための取組み	<ul style="list-style-type: none"> 「目利き力養成講座」や「企業再生支援講座」等中小企業金融の再生のための外部研修への派遣、監査法人や研修の受講者を講師とした内部研修、営業店事例研修の実施、各種通信講座の受講を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会等が実施する「目利き力養成講座」や「企業再生支援講座」等各種外部研修に積極的に職員を派遣する。 監査法人や外部研修受講者を講師とした内部研修を実施する。 事業再生・中小企業金融の円滑化に関する営業店事例（成功例・失敗例）研修を実施する。 各種通信講座の受講の奨励をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の取組みを継続して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修派遣状況 <ul style="list-style-type: none"> 目利き力養成上級講座（全国信用金庫研修所）3名 目利き力養成基礎講座（全国信用金庫研修所）2名 目利き研修講座（中信協主催）4名 企業再生支援実践講座（全国信用金庫研修所）2名 企業再生支援講座（中信協主催）4名 企業再生支援実務担当者会議（山口市）1名（18年3月1日、7月7日、9月15日、11月24日出席） RCCの企業再生に関する勉強会（中信協主催）1名 再生支援研究会（広島市）1名 事業再生セミナー（信金中金）2名 中国地区しんきん企業支援研究会（信金中金）1名 地域振興支援実務研修（信金中金）1名 中小企業経営改善支援実務研修（信金中金）1名 外部研修受講者を講師とした内部研修状況 <ul style="list-style-type: none"> 18年6月13日に「目利き力養成講座」受講者3名を講師とした内部研修を実施した。 各種通信講座受講状況 <ul style="list-style-type: none"> 企業目利き力養成講座（株きんざい）1名 中小企業経営改善プログラム講座（株きんざい）1名 実践 中小企業経営支援アドバイスコース（経済法令研究会）1名
2. 経営力の強化				
(1) リスク管理態勢の充実 パーゼルの導入に備えたリスク管理の高度化等	<ul style="list-style-type: none"> 自己資本比率の算出方法の精緻化を図る。 信用リスクの計測手法を整備する。 オペレーショナルリスクの計測基準を整備する。 リスク管理を高度化する。 統合リスク管理を導入する。 情報開示を充実する。 自己資本比率とその内訳、各リスクのリスク量とその計算手法等の半期開示を実施する。 	(下期) <ul style="list-style-type: none"> 信用リスク、オペレーショナルリスクの計測方法の研究と試行実施に向けた準備を行う。 	(上期) <ul style="list-style-type: none"> 信用リスク、オペレーショナルリスクの計測による新BIS基準自己資本比率算出の施行実施を行う。 統合リスク量の把握と分析を実施する。 (下期) <ul style="list-style-type: none"> 全信協ひな型等により情報開示内容等を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年2月14日、証券会社担当者を講師とする新BIS規制の第2の柱であるアウトライヤー規制等の勉強会を行った。（10名受講） 18年5月24日、信金中金主催「パーゼル 粗利益配分手法に係る勉強会」に1名参加した。 18年7月28日開催のリスク管理委員会で信用リスク量の試行状況を報告した。 18年8月2日、全信協主催「新しい自己資本比率規制に関する説明会」に2名参加した。 18年8月28日、中国地区共同事務センター事務連絡協議会における「パーゼル システム対応説明会」に2名参加した。 18年9月19日、パーゼル に対する作業スケジュールと金庫方針案を策定した。 18年11月27日～30日、全国信用金庫研修所における総合リスク管理講座（パーゼル 対応）に1名派遣した。 18年12月14日、パーゼル 作業部会及び自己資本比率検証部会を設置した。 19年1月26日、2月16日、3月20日のリスク管理委員会において、パーゼル 第1の柱（最低所要自己資本）、第2の柱（監督上の検証）、第3の柱（ディスクロージャー）の定義を決定した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況																		
		17年度	18年度	17年4月～19年3月																		
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 金利設定ルールの遵守により安定した収益を確保する。但し、貸出金の増強による収益力を強化するため、優良取引先、他行競合先に対しては柔軟な金利対応を行う。 「個人向け国債」「生命保険」等の預り資産の増強に努め、手数料収入の拡充を図る。 信用リスクデータベースの整備・充実及び各種データの活用により、リスク量の把握やポートフォリオの適正化等に取組む。 SDB（信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース）より還元される統計情報やデフォルト率等を活用し、金利設定ルールの見直しを検討する。 SSCの「企業信用格付システム」への移行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 優良取引先、他行競合先に対する柔軟な金利対応を行う。 「個人向け国債」「生命保険」等の預り資産の増強を行う。 SSCの「企業信用格付システム」への移行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 優良取引先、他行競合先に対する柔軟な金利対応を行う。 「個人向け国債」「生命保険」等の預り資産の増強を行う。 デフォルト率に基づく信用コストの算出等により、金利設定ルールの見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 貸出金増強による収益の増加を図るため、優良先、他行競合先に対しては柔軟な金利対応を行った。 「個人向け国債」「生命保険」等の預り資産の獲得状況 <ul style="list-style-type: none"> 個人向け国債 <table border="1"> <tr> <td>17年4月以降累計 23件</td> <td>販売額</td> <td>139,000千円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>838千円</td> <td></td> </tr> </table> しんきんグッドスマイル <table border="1"> <tr> <td>17年4月以降累計 48件</td> <td>保険料</td> <td>16,394千円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>4,425千円</td> <td></td> </tr> </table> 個人年金保険 <table border="1"> <tr> <td>17年4月以降累計 951件</td> <td>保険料</td> <td>2,408,231千円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>51,660千円</td> <td></td> </tr> </table> 信用格付システムのSSCへの移行 決算書入力方法の説明会実施（平成17年7月20日、7月21日） 決算書入力作業及び格付結果の検証（17年度、最終的な自己査定との整合率63.1%） 「格付結果検討書」「格付情報調査依頼書」による格付結果不一致の原因調査。 18年7月10日、SSCよりデフォルト率（全国のSSC利用金庫の実績デフォルト率）の還元を受け試行的に信用リスク量の算出を行った。 	17年4月以降累計 23件	販売額	139,000千円	手数料	838千円		17年4月以降累計 48件	保険料	16,394千円	手数料	4,425千円		17年4月以降累計 951件	保険料	2,408,231千円	手数料	51,660千円	
17年4月以降累計 23件	販売額	139,000千円																				
手数料	838千円																					
17年4月以降累計 48件	保険料	16,394千円																				
手数料	4,425千円																					
17年4月以降累計 951件	保険料	2,408,231千円																				
手数料	51,660千円																					
(3) ガバナンスの強化																						
協同組織金融機関におけるガバナンスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 半期開示の内容を充実する。 <ul style="list-style-type: none"> 開示項目は全信協とりまとめを参考のうえ、内容の充実を図る。 総代会の機能強化に向けた取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 全信協のガバナンス向上策等を参考として、内容の充実に取組む。 一般会員の意見を反映させるため、女性総代の選任に取組む。 	<p>(上期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌に「総代の任期、定数、選任方法」、「総代が選任されるまでの手続き」を追加する。 <p>(下期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全信協とりまとめを参考に半期開示を行う。 	<p>(上期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全信協とりまとめを参考に半期開示を行う。 女性総代の選任について、理事会にて検討し、総代会で決定する。その他、全信協のガバナンス向上策等を参考に取組む。 <p>(下期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全信協とりまとめを参考に半期開示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌に「総代会に関する事項」を掲示し周知した。(17年度上期) ホームページに半期開示を公開した。(17年度下期・18年度下期) 2006ディスクロージャー誌に「総代の任期、定数、選任方法、総代が選任されるまでの手続き、総代の氏名」を掲載した。(18年度上期) 18年8月に会員に対するアンケート調査を実施した。(200先抽出：回答率30.5%) 女性総代の選任に向け、候補者の選定を行った。(18年度下期) 																		

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「法令遵守に対する取組計画書」の策定とモニタリングを実施する。 ・コンプライアンス室担当者が地域金融円滑化会議に出席する。 ・コンプライアンス委員会会議を開催する。 ・コンプライアンス担当者会議を開催する。 ・「コンプライアンスチェックリスト」チェックでの自己啓発による啓蒙を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「17年度法令遵守に対する取組計画書」の策定とモニタリングを実施する。 ・地域金融円滑化会議に出席する。(年2回開催予定) ・コンプライアンス委員会会議を開催する。(年2回開催) ・コンプライアンス担当者会議を開催する。(年4回開催) ・「コンプライアンスチェックリスト」チェックでの自己啓発による啓蒙を図る。(年2回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「18年度法令遵守に対する取組計画書」の策定とモニタリングを実施する。 ・地域金融円滑化会議に出席する。(年2回開催予定) ・コンプライアンス委員会会議を開催する。(年2回開催) ・コンプライアンス担当者会議を開催する。(年4回開催) ・「コンプライアンスチェックリスト」チェックでの自己啓発による啓蒙を図る。(年2回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各営業店より「17年度法令遵守に対する取組計画書」を策定させた。各営業店のモニタリングを上期・下期に実施した。 ・各営業店より「18年度法令遵守に対する取組計画書」を策定させた。各営業店のモニタリングを上期・下期に実施した。 ・第9回山口地域金融円滑化会議出席(17年9月7日) ・第10回山口地域金融円滑化会議出席(18年2月16日) ・第11回山口地域金融円滑化会議出席(18年9月7日) ・第12回山口地域金融円滑化会議出席(19年2月28日) ・コンプライアンス委員会会議の開催(17年8月19日、18年3月3日、18年8月18日、19年2月27日) ・臨時コンプライアンス委員会開催(18年11月15日、18年12月19日) ・コンプライアンス担当者会議の開催(17年4月21日、17年9月27日、17年11月22日、18年2月17日、18年4月21日、18年6月16日、18年10月24日、19年2月23日) ・「コンプライアンス状況チェックリスト」のチェックによる啓蒙を実施した。(17年8月、18年2月) ・「コンプライアンス状況チェックリスト」のチェックによる啓蒙を実施した。(18年8月、19年2月)
適切な顧客情報管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理措置に係る実施体制を整備する。 ・顧客情報の漏えい・流出等を防止するための管理態勢を強化する。 ・苦情処理態勢の整備、漏えい事案への対応整備を行う。 ・点検及び監査体制を確立する。 ・職員の個人情報に対する意識啓発を再徹底する。 ・監査部による「個人データの取扱状況」の監査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理措置に係る実施体制を整備する。 ・顧客情報の漏えい・流出等を防止するための管理態勢を強化する。 ・苦情処理態勢の整備、漏えい事案への対応整備を行う。 ・点検及び監査体制を確立する。 ・職員の個人情報に対する意識啓発を再徹底する。 ・監査部による「個人データの取扱状況」の監査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度の取組みを継続し、一層強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月30日までに、個人情報の一斉点検を実施した。 ・監査部において、「個人データの取扱状況」をコンプライアンスに係る監査項目として8店舗実施した。 ・17年12月1日、安全管理措置に関する諸規程を作成・整備した。 ・17年12月30日までに、監査部において「個人データの取扱状況」をコンプライアンスに係る監査項目として残り3店舗実施した。 ・18年7月までに、監査部において「個人データの取扱状況」をコンプライアンスに係る監査項目として1店舗実施した。 ・18年9月11日、印鑑照会システムの運用を開始した。 ・18年9月28日、「個人データの漏洩事案等への対応の段階における取扱規程」の説明会を営業店長を対象に実施した。 ・19年3月までに、監査部において「個人データの取扱状況」と「顧客等のデータ保護についてコンプライアンスに係る監査項目として全店舗実施した。 ・19年1月9日に個人情報保護対応の関連規程の制定・改定を行い、1月5日に部課店長を対象に研修を実施した。 ・職員の個人情報に対する意識啓発については、「個人情報保護教育規程」を作成し指導・教育を実施した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(5) ITの戦略的活用 コミュニケーションサーバーへの切替え、及び統合ネットワークへの切替え	<ul style="list-style-type: none"> 各営業店と本部との間のネットワークを光ケーブルに更改する。 勘定系・情報系、及び金庫独自ネットワークとの連携を考慮した統合ネットワークにする。 TCをコミュニケーションサーバーに更改する。 各営業店への新営業店クライアント端末（共同事務センター端末による渉外支援、顧客管理業務の活用化のための端末）の導入を検討する。 ワークフローシステム（各種稟議、文書回覧用のペーパーレスシステム）の導入を検討する。 規程集、発信文書のWEB化を検討する。 DWH（金庫独自の補完用コンピュータシステムから共同事務センター設置のサーバーコンピュータ）への乗換えを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 光ケーブル設置のための各営業店におけるネットワーク工事の調査、費用見積の計算及び共同事務センターへの申し込み、共同事務センター等との導入の打合せを実施する。 平成18年1月に統合ネットワーク化に切替え、平成18年2月にコミュニケーションサーバーに切替える。 	<ul style="list-style-type: none"> DWHへの乗換えの検討、及び各営業店への新営業店クライアント端末の導入を検討する。（渉外支援、顧客管理業務の活用化） ワークフローシステムの導入を検討する。 規程集、発信文書のWEB化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年10月から18年1月にかけてネットワークの構築を実施した。 18年1月から2月にかけて統合ネットワークへの切替え、コムサーバへの切替えを実施した。 統合ネットワーク、コムサーバの導入効果を活かすための新渉外支援、顧客管理、融資稟議システムの導入を検討した。 DWHの乗換えへの検討。（金庫独自の補完用コンピュータは、当面NTTデータの顧客基本集中サーバーへ移行するため、平成19年3月にサーバーを導入した。）
(6) 協同組織中央機関の機能強化 市場リスク管理態勢等の強化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫との経営効率分析勉強会やリスク管理勉強会を実施する。 信金中央金庫の提供する高利率預金商品を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫との経営効率分析勉強会やリスク管理勉強会を実施する。 信金中央金庫の提供する高利率預金商品を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の取組みを継続実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会の実施 17年8月17日、信金中央金庫山口分室2名を講師とする経営効率分析勉強会を実施した。（11名受講） 17年8月26日、信金中央金庫証券業務部担当者を講師とする有価証券ポートフォリオ分析及びALM勉強会を実施した。（10名受講） 18年10月23日、信金中央金庫中国支店及び山口分室2名を講師とする経営効率分析及びパーゼルの対応勉強会を実施した。（9名受講） 18年11月20日信金中央金庫証券業務部担当者を講師とする有価証券ポートフォリオ分析及び統合リスク管理勉強会を実施した。（16名受講） 高利率預金商品の活用 17年5月9日の信金中央金庫特別定期預金を17年12月6日に継続預入した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
3. 地域の利用者の利便性向上 (1) 地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 地域の小規模企業者に対する資金供給の状況や預金等の地域活用状況等、地域密着型金融への取組状況を開示する。 利用者からの質問や相談等で頻度の高いものについて回答事例を公表する。 	(上期) <ul style="list-style-type: none"> 地域の小規模企業者に対する資金供給の状況や預金等の地域活用状況等、地域密着型金融への取組状況をディスクロージャー誌により開示する。 (下期) <ul style="list-style-type: none"> 地域の小規模企業者に対する資金供給の状況や預金等の地域活用状況等、地域密着型金融への取組状況をホームページにより開示する。 利用者からの質問や相談等を収集する。 ディスクロージャー誌及びホームページに関するアンケート調査を実施する。 	(上期) <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の結果を踏まえ、ディスクロージャー誌の開示内容の充実を図る。 利用者からの質問や相談等で頻度の高いものについて回答事例を公表する。 (下期) <ul style="list-style-type: none"> 地域の小規模企業者に対する資金供給の状況や預金等の地域活用状況等、地域密着型金融への取組状況をホームページにより開示する。 利用者からの質問や相談等を収集する。 ディスクロージャー誌及びホームページに関するアンケート調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献活動については、ディスクロージャー誌、ホームページで開示、公開している。 18年2月に顧客満足度アンケート調査を実施した。 19年2月に顧客満足度アンケート調査を実施した。
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性等も踏まえた利用者満足度アンケート調査等を実施し、その結果を経営方針への反映等によって、地域の特性や利用者ニーズを踏まえた施策について検討し、併せて業務改善等が必要な事項は、適切に改善を図ったうえで、その内容をできる限り公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査等により利用者ニーズを把握する。 調査結果を踏まえ、改善策を検討する。 利用者ニーズを踏まえたサービスを提供する。 提案型の商品やサービスを提供する。 苦情・相談に関しては、担当部署で改善策を検討・協議する。 改善策の周知徹底を図るとともに、全役職員に通知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の声を生かして経営・業務改善を図った事項について、18年6月末までにできる限り公表する。 基本的に17年度の取組みを継続し、一層強化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案型商品として、スーパー住宅ローン、SKYBANK リフォームローン、SKYBANK カードローンの商品を提供した。 個人年金(変額)保険を提供した。 17年12月1日、「フューチャー保証制度」の取扱いを開始した。 18年2月にアンケート調査を実施した。 18年5月22日、積立傷害保険の取扱いを開始した。 18年5月22日、積立傷害保険の取扱いを開始した。 18年11月1日、「マネーリッチカードローン」の取扱いを開始した。 18年12月15日、「しんきん太助」「ハイブリッド・ビジネスローン」の取扱いを開始した。 19年2月、利用者満足度のアンケート調査を実施した。

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況
		17年度	18年度	17年4月～19年3月
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に向け、「まちづくり」を盛り上げ、事業への資金供給支援を実施する。 ・金庫ホームページ、ディスクロージャー誌、ATMコーナーを通じた情報発信、情報交換を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地公体や商工団体との提携・情報交換により、情報収集を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に17年度の取組みを継続し、一層強化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はぎしん事業支援ネットワーク体制に基づき各営業店及び本部担当部署で、地元商工会・商工会議所との情報交換を実施した。 ・油谷商工会 1回 ・長門商工会議所 30回 ・三隅町商工会 1回 ・萩商工会議所 24回 ・阿武町商工会 13回 ・川上村商工会 2回 ・萩商工会議所常議員会に出席した。(18年4月13日) ・阿武町商工会青年部総会に出席した。(18年5月23日) ・萩市観光協会理事会に出席した。(18年7月12日) ・山口県信用保証協会と研修・情報交換会を実施した。(18年5月16日) ・岡山県しんきん合同ビジネス交流会に参加した。(18年9月6日) ・(財)中国産業活性化センター主催による地域展開型PFI推進フォーラム2005に1名参加した。(17年10月14日) ・萩商工会議所総会(18年12月8日)、新年互礼会(19年1月9日)に出席の他12回、阿武町商工会5回、長門商工会議所10回、萩・阿西商工会1回情報交換した。 ・毎月開催される萩市観光協会理事会に出席しました。 ・萩商工会議所青年部との勉強会を開催した。(18年10月20日) ・山口合同ビジネスフェア実施予定(平成20年3月12日)の準備委員会に出席した。